

2009年度 学期 前期	曜日・校時 火曜日 1・3校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本語 I / Advanced Japanese I		
対象年次 1・2年次	講義形態 演習	教室 229	
対象学生(クラス等) 留学生・全学部	科目分類 留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 夢田美有紀 / Eメールアドレス: miyut@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 留学生センター二階 / TEL: 095-819-2240 / オフィスパワー: 水曜日 3、4校時 (他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500文字) 授業のねらい: 今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。 授業方法: 読解、作文、ディスカッション、発表。グループ活動あり。 授業到達目標: 時事問題や専門的な内容についての記事を理解するだけでなく、自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。グループで話し合っ ^て 意見をまとめ、発表できるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300文字) 授業内容(概要) 偶数週に新聞などの記事の読解、読解問題、レポートの書き方の学習、レポート作成を行い、翌週に発表のしかたの学習、前の週に扱った記事に関連した発表の準備と発表をします。 第1回 オリエンテーション、短い記事の読解、レポート作成、発表準備、発表 第2回 記事① 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方①、レポート作成 第3回 発表のしかた①、グループで発表準備、発表 第4回 記事② 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方②、レポート作成 第5回 発表のしかた②、グループで発表準備、発表 第6回 記事③ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方③、レポート作成 第7回 発表のしかた③、グループで発表準備、発表 第8回 記事④ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方④、レポート作成 第9回 発表のしかた④、グループで発表準備、発表 第10回 記事⑤ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方⑤、レポート作成 第11回 発表のしかた⑤、グループで発表準備、発表 第12回 記事⑥ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方⑥、レポート作成 第13回 発表のしかた⑥、グループで発表準備、発表 第14回 記事⑦ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポート作成、授業評価 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教材:「留学生のための日本語作文演習(中上級用)-第5版-(初回に配布)、新聞記事など(毎回配布)。 参考図書:「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税		
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20%、グループ活動での積極性 10%、他グループの発表を聞く態度 10%、発表 30%、レポート 30% ※ 出席:遅刻三回で欠席一回とみなします。 ※ レポート・発表は辞書を使ってもかまいません。インターネットや本の文を使うときは引用文の後ろに () を書いて、著者名と書かれた年を書き、作文の最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃 ^{ひょうせつ} と考え、単位を出しません。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	「全学教育学生便覧」参照のこと。		
備考(準備学習等)	1校時目と3校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		